



近江鉄道

NEWS LETTER

近江鉄道株式会社

滋賀県彦根市駅東町 15 番 1

<https://www.ohmitetudo.co.jp>

2026 年 2 月 17 日

地域との共創で未来を描く

「2025 年度近江活性化フォーラム」を開催しました！

近江鉄道株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役社長：藤井 高明）は、2026 年 2 月 15 日（日）に彦根勤労福祉会館にて「2025 年度近江活性化フォーラム」を開催しました。

本フォーラムは、近江鉄道線沿線地域公共交通再生協議会（法定協議会）の取り組みの一環として 2022 年より開催しています。今年度は「ガチャフェスから広がる地域の輪」をテーマとした交流会と、台湾インバウンド誘客セミナーの二部構成で実施し、地域住民、自治体、当社が一体となって沿線地域の活性化について議論を深めました。

■開催概要

【開催日時】2026 年 2 月 15 日（日） 第一部 13:00～15:00 第二部 15:00～17:30

【開催場所】彦根勤労福祉会館 4F 大ホール

【参加者数】第一部 53 名、第二部 38 名

【主 催】近江鉄道株式会社

【協 力】近江鉄道線沿線地域公共交通再生協議会、台湾観光協会大阪事務所（第二部）



「2025 年度近江活性化フォーラム」の様子

■第一部 近江鉄道線活性化に取り組む皆さんの交流会

第一部では、「ガチャフェスから広がる地域の輪」をテーマに、『ガチャフェス 2025』に参加された皆さんによる振り返りや、やってみたいイベントなどについてディスカッションしました。年 1 回のイベントで終わらせるのはもったいなく、普段の利用や常時の賑わいにつなげる仕組みが必要という声など、活発な意見交換が行われました。

●第一部 参加者の声



《参加者 Aさん（自営業者）》

1年目から参加させていただいている。イベント自体はものすごく素晴らしいと思っています。残念なのは年に1回しかないということ。今日話してみて、皆さん同じ思いを持っていることが分かりました。常時その街がどうあるべきかを考えることが街づくりだと思うので、ガチャフェスで生まれたエネルギーを普段のにぎわいや駅の魅力につなげていければ、もっと良くなっていくと感じました。



《参加者 Bさん（沿線住民）》

いろんな方の考えを聞いて良かったです。私は甲賀市の貴生川駅周辺の住民なのですが、『ガチャフェス』に合わせて町内会でイベントをしています。事前のPRがもっとできれば、もうちょっと人を呼べたり、他の地区でどんなイベントをやっているのかわかれればもう少し盛り上がりたりするのかなと思います。デジタルツールを使って簡単にできそうなので、他の会場でどんなことをしているのかがリアルタイムでわかると、そっちにも行ってみようかなという人も出てくるのかなと思いました。同じグループの方がマグロの解体ショーをやってみたいと仰っていたのが印象的で、実現できたらいいなと思います。



《参加者 Cさん（自営業者）》

大学卒業後、ベンチャー企業を経営していて、面白いイベントがあると誘われて参加しました。地元大阪と比べると、お金も人も少ないので盛り上げていくのは、難しいと感じました。ただ、ここにしかない良さもあるので、それをどのように引き出していくか、アピールの仕方も含めて課題もたくさんあると感じました。『ガチャフェス』の人流が大きい駅に集中してしまう点は、魅力をどうアピールしていくかが難しいなと思います。他の鉄道会社の方とも意見交換できて、知見が広がりました。



《参加者 Dさん（会社員）》

パートナーズクラブに加入しておりホームページを見て参加しました。『ガチャフェス』の昨年の状況と今年どのように実施されるのか、実際に皆さんの意見を聞いて学べました。私も鉄道員として自社でもこんなイベントができたらと思っています。二部も参加しましたが、インバウンドのお客さんをどう呼び込むかは、鉄道会社や地域の課題だと思います。SNS等を駆使して外国から来ていただけたら、地域としても元気になるのではないかと考えています。

■第二部 SNS を活用した台湾インバウンド誘客セミナー

第二部では、台湾観光協会大阪事務所の協力のもと、「SNS を活用した台湾インバウンド誘客」をテーマとしたセミナーを開催しました。当社は 2020 年 10 月に「多賀大社前駅」と台湾鉄路「萬華（ワンファー/ばんか）駅」との姉妹駅協定を締結して以来、台湾との交流を深めており、2025 年には協定締結 5 周年記念イベントも実施するなど、相互交流を進めてまいりました。

セミナーでは、台湾の基礎知識や現地の最新情報、Instagram を活用した情報発信方法について学び、参加者が近江鉄道沿線地域への観光客誘致の具体策について考えました。また、台湾茶やお茶菓子の試食体験も行われ、五感で台湾文化を楽しみながら交流を深める機会となりました。

●第二部 参加者の声



《参加者 E さん（ガチャフェス地域イベント主催者）》

台湾は行ったことがなかったのですが、たくさん台湾の PR をしていただいたので行きたくなりました。ワークショップでは、目的意識を持って誘客する点で、どのようなことが現地の方に刺さるのかという観点でフィードバックいただけたのはすごく良かったです。なかなか参加している方の意見を、客観的に聞ける機会は少ないので。やはり現在は、体験とその価値の提供を打ち出していく方が、SNS 上ではより刺さるんだなというのを改めて認識させてもらいました。



《参加者 F さん（沿線住民）》

台湾が大好きで、台湾旅行を日々考えており、近江鉄道で通勤途中に中吊広告でこのイベントをみて、何か情報をもらえたらいと思い参加しました。個人旅行だと歴史については聞くことがありませんが、細かい歴史の話も聞いて、より理解が深まり良かったです。台北や台南など、台湾には何度も訪れていて、台中へはまだ行ったことがなかったので、どうやって行こうかと考えていました。今回、台湾鉄路などの電車や新幹線で行けることを聞けたので、次回は移動するときに利用してみたいと思います。